

9 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 （ 要 点 ）

| | |
|---------------|---|
| 日 時 | 令和6年9月30日（月）午前10時00分 |
| 場 所 | 庁舎第3別館2階 会議室 |
| 出席委員 | 教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 竹田美和、委員 野間真美 |
| 会議に出席した者の職・氏名 | 副教育長 鳥生敬二、教育政策局長 波頭健 教育大綱推進課長 鳥生幸司、学校教育課長 井上洋 生涯学習課長 畑紀輔、学校給食課長 清水恵蔵 教育大綱推進課長補佐 崎山憲一 |
| 傍聴人 | 一般1名 |
| 議 題 | 議案 議案第43号 今治市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則制定について 午前10時00分、開会を宣す |
| 小澤教育長 | 日程番号1、8月教育委員会の会議録について意見はないか問う |
| 竹田委員 | 8月22日の臨時会会議録の4ページ、書写の部分について、「1～3年生」となっているところを「1年生から3年生」に変更し、文章もわかりやすく変更してほしいです。5ページの社会地理の教科書のところで「帝国書院さん」ではなく「帝国書院」に、21ページ4行目の「事業」を「授業」に、変更をお願いします。 |
| 小澤教育長 | 承知しました。 |
| 小澤教育長 | 他に意見はないか問う |
| —各委員— | なし |
| 小澤教育長 | 修正の上、承認するか問う |
| —各委員— | 承認する |
| 小澤教育長 | 日程番号2、会議録の署名委員に、竹田委員、野間委員を指名 |

する。

日程番号3、教育長報告を行う

質疑がないか問う

山本委員

学校の適正配置の件についてです。デリケートな問題ですので市長部局や関係部局と連携を取りながら計画的に丁寧に対応いただいていると思います。これからもよろしくお願いします。

野間委員

学校の先生は仕事の内容が男女の格差なく平等にできる素晴らしい仕事だと思います。先ほど教員採用試験結果の中で、教員の志願者数を教えてもらいましたが、男女比はわかりますか。

小澤教育長

小学校は女性が多く、中学校は教科によるが男女半々くらいだと思います。

野間委員

中学校の希望者数はあまり減っていないということなので、その理由を探っていけば小学校教員希望者の減少対策につながるのではないのでしょうか。

小澤教育長

ご意見ありがとうございます。

小澤教育長

他に意見はないか問う

—各委員—

なし

<議題審議>

小澤教育長

「議案第43号 今治市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明を求める

畑生涯学習課長

—「議案第43号 今治市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則制定について」説明—

小澤教育長

質疑はないか問う

—各委員—

なし

小澤教育長

承認するか問う

—各委員—

承認する

小澤教育長

他に意見はないか問う

竹田委員

9月13日に大阪で開催された市町村教育委員会研修協議会の出席報告をします。

まず、令和6年8月に不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果の成績評価について法令の改正がありました。これは授業を受けていないときに、教育支援センターの授業にオンラインで参加しているとか、学校から届いたプリントや実技教科の作成キット等を自宅や教育支援センターで学習した成果を成績に反映してくださいというもので、フリースクールや民間eラーニング教材を活用して学習することもあると思います。学校の授業以外にも、児童生徒の評価に反映できるようになり、とても良い改正だと思います。

もう一つ8月30日に法令改正されているのが、いじめの重大事態の調査に関するガイドラインです。改訂内容は後ほど配布した資料を確認してください。

さらに、「部活動の地域移行」の分科会に参加しました。グループの話し合いでは、どのような形で移行したらいいのかわからないとか、交通費等で悩んでいる所が多い中で、今治市は水泳や柔道を実際にやっており、グループ内では割と進んでいる方だと思いました。

分科会全体の話し合いの中では、人材確保にどの自治体も悩んでいるようで、人材を確保できても生徒指導の研修等を受けさせてくれるのかという質問もありました。また、教員が部活動をしたときに勤務時間内として手当を考えているのか質問があり、文科科学省からは、難しいと思うとの回答でした。令和7年度までの実証事業が終了した後については、令和8年度から補助事業として継続していく流れだそうです。

完全に部活動の地域移行をしている事例の資料をいただきましたので、見ていただきたいと思います。

小澤教育長

ありがとうございました。

不登校児童生徒の欠席で授業を受けられない場合の評価について、部活動の地域移行、人材の確保についてということでした。

井上学校教育課長

不登校児童生徒の評価については学校と事業所と本人がどういった学習ができているか、今後もすり合わせて情報共有し、適切に評価できる状態を作ってもらうように、学校に働きかけたいと思います。

部活動の件ですが、今月中体連の顧問と協会の方との情報交換の場を、どの種目についても設ける予定です。人材の確保に結びつけて、令和8年度から教員が部活動をしなない状態がつかれるように今後も努力していきたいと思っています。

現在は水泳が実証事業のもとクラブ化しておりますが、どの競技ができるか模索し、早い段階で移行できるよう努めたいと思います。

小澤教育長

人材確保につきましても、昨年度から支援員等の拡充を図っているところですが、竹田委員がおっしゃられるように、質の向上として、支援員の研修会等を教育委員会で行っているところです。

竹田委員

研修受講にあたり、事前に今治市の部活動のことを聞きました。その際、地域移行で部活動をする場合は、学校の保険がきかないので、別の保険に入る必要があることを聞きました。水泳部が地域移行になり、保険は、今は補助金で賄っていると思いますが、今後は保護者負担にするしかないのですか。この新人戦から水泳部が、地域移行後初めての大会になるかと思うのですがそうでしょうか。

井上学校教育課長

それ以外の競技はありますが、水泳の新人大会はないです。現在は実証事業を行っており、保険もその事業の中で賄えています。今後、全ての子どもへの補助は、現時点では明確な答えは出ておりません。どこまで補助できるか検討したいと思います。

竹田委員

今治市もかなりの課題があり、実証事業だからできていることが、たくさんあると思っています。事前に、実証事業から、島しょ部の部活動のためのタクシーでの島の行き来などの交通費が賄っている話も伺いました。これも事業が終わってしまうと、難しくなってきます。これから今治市も検討しないといけないと思います。

また、今治市の部活動が今どういった状況になっているのか、地域移行に向けてどういう事業をしているのかを教育委員も知らないと思うので、機会があれば皆さんにもお話していただけたらと思います。

小澤教育長

水泳は以前から新人戦はなく、今モデル的に水泳が移行している段階です。

竹田委員がおっしゃられた課題とか、今治市には島しょ部がある地域性の特徴もありますので、他の種目にどのように反映して

いくつか検討していきたいと思います。

小澤教育長

他に意見はないか問う

—各委員—

なし

小澤教育長

午前10時26分閉会を宣す